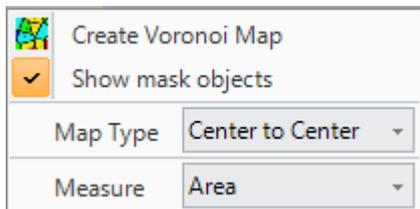
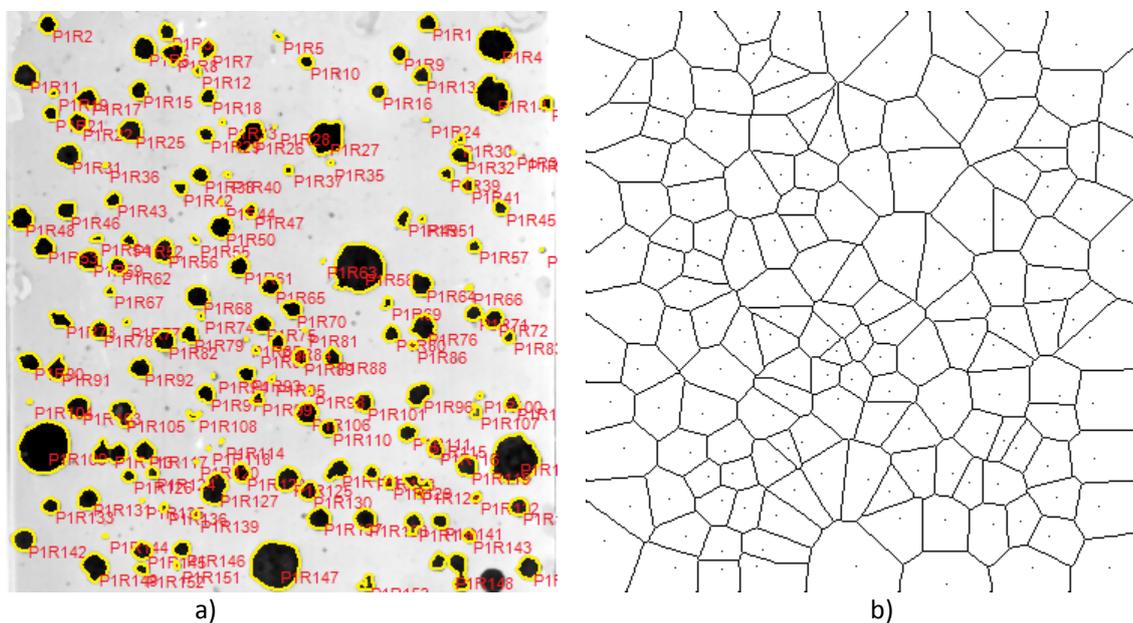


ボロノイマップ

Create Voronoi Map ボタンでボロノイ図を作成できます。この図は対象に近接する領域を分割したもので、粒子の空間分散度の解析のために用いられます。
このボタンにはオプションとして次のドロップダウンメニューがあります。

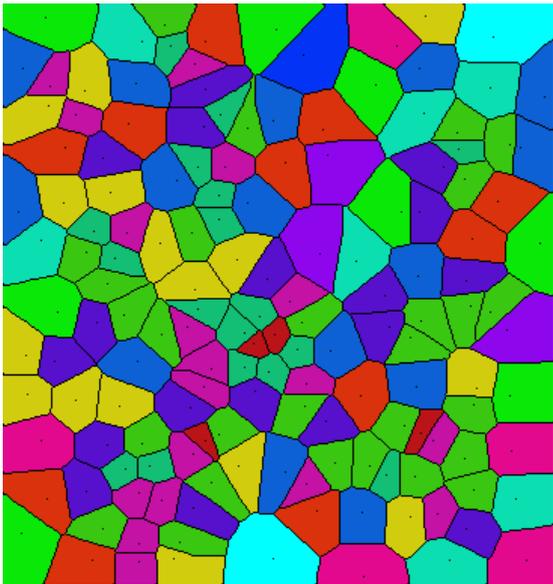


“Show mask objects” がオンの時、対象物を中心に含みます。中心の定義はマップタイプに依存します。

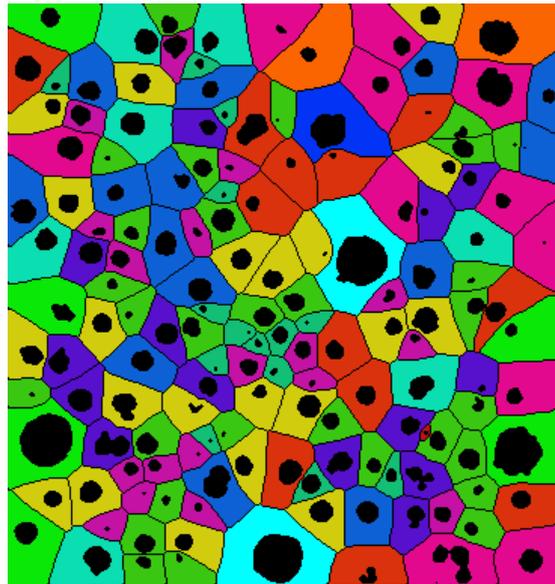


カウントされた対象のオリジナル画像が (a) で、そのボロノイ図が (b) です。マップタイプの設定は、Center to Center, Measure – None です。

Map Type は分割方法を定義します。Center to Center の場合、物体の中心を基準にした分割が行われ、Edge to Edge の場合、物体のエッジからの距離で分割が行われます。



a)



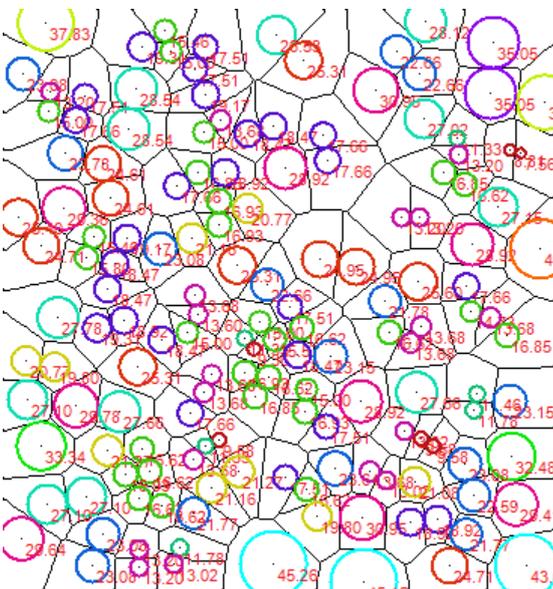
b)

Map Type - **Center to Center** (a), Map Type - **Edge to Edge** (b), Measure - **Area**. 注意：物体のマスクはデモのため表示されています。マップはデータヒストグラムの分類で色付けされています。

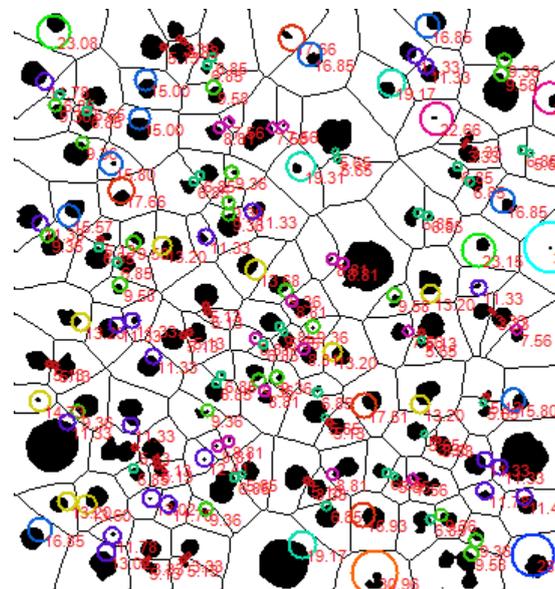
Measure オプションは、結果のマップ上でどのような測定結果を表示するかオプションです。None, Area, Minimum Distance が選べます。

Area タイプが選ばれた場合、物体は全体のアウトラインを使って測定されます。

Minimum Distance が選ばれた場合、物体に最も近い領域に対して近接円を含みます。この場合の距離は、Region:Diameter として測定される値のことです。



a)



b)

Map Type - **Center to Center** (a), Map Type - **Edge to Edge** (b), Measure - **Minimum Distance**.

円はデータヒストグラムの分類に従って色付けされています。